

欧州自動車産業ニュース

No. 946

2024年9月6日号

ボルボ、30年までに完全EV化撤回 市場変化に対応、CO2削減目標も修正

ドイツ乗用車新車登録、8月は27.8%減少

BMWとトヨタ、燃料電池車の提携強化

セルインパクト、第2四半期は38%増収

© European Community

* PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

- 1.本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
- 2.本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

シュツットガルト港の水素プロジェクトが始動	4
大型商用車用水素ステーション、2024年末までに50カ所以上に＝独H2モビリティ	4
ドイツ乗用車新車登録、8月は27.8%減少	5
ドイツ国内生産、8月は24%増加	8

企業情報

自動車メーカー

ボルボ・カーズ、30年までに完全EV化の目標撤回	9
BMWとトヨタ、燃料電池車の提携強化	10
ステランティス、シトロエンにチャットGPTを標準装備	11
ポールスター新CEO、元オペルのローシェラー氏が就任	11
ボルボの大型電気トラック「FH」、航続距離600キロの長距離モデルを投入	12
英JLR、ソリハル工場従業員に無料健康診断を実施	12

部品メーカー

セルインパクト、第2四半期は38%増収	13
タタ製鉄の英スランウエルン工場、亜鉛メッキ鋼の生産記録を更新	13

クローズアップ

HGHH／HH-WIN	14
-------------------	----

欧州自動車短信

ヌベラ・フュエル・セルズ／ビリテック など	15
-----------------------------	----

一般・その他

EU産ブランデーがダンピング輸出、中国政府が暫定認定	16
EUと中国、産業データ移転に関する協議開始	16
環境団体がEUを欧州裁に提訴、温効ガス排出規制強化求め	17
オランダ当局がウーバーに巨額制裁、EUのデータ保護規則違反で	17

テクノロジー・トレンド

英HVS、中国HYBOTと戦略提携	18
-------------------------	----

目で見える欧州自動車産業ニュース

英国、自動車生産統計:2024年7月	19
--------------------------	----

企業名索引.....18

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取組みたいと考えております。
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950

Email: info@fbc.de

FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

総合

シュツットガルト港の水素プロジェクトが始動

ドイツの自治体系企業シュタットヴェルケ・シュツットガルト（SWS）は8月20日、ネッカー川の内陸港（シュツットガルト港）における水素プロジェクトを監査役会が承認したと発表した。当該プロジェクトでは、グリーン水素の生成ハブ「グリーン・ハイドロジェン・ハブ・シュツットガルト（GH2S）」の建設および生成した水素の輸送インフラの整備を計画している。2025年初めの建設開始を計画しており、2026年末の操業開始を予定している。

具体的には、太陽光発電や風力発電による再生可能エネルギーの余剰電力を活用し、水電解装置4基（導入出力：最大10メガワット）により、年最大1,000トンの高純度水素を生成するグリーン水素生成ハブを建設する計画。生成した水素は、パイプライン「H2 GeNeSiS」またはトレーラーにより、産業分野、研究開発機関、バス・大型トラック用の水素充填ステーションに供給する。余剰電力の活用は、設備のデジタルツインと人工知能（AI）を使って制御する。

<AI22189>

大型商用車用水素ステーション、2024年末までに50カ所以上に＝独 H2 モビリティ

水素供給スタンド網を建設・運営する合弁会社 H2 モビリティ・ドイッチェラント（以下、H2 モビリティ）はこのほど、ドイツ国内で大型商用車（トラック、バス）が350バールで水素を充填できる水素ステーションが2024年末までに50カ所以上に増えるとの見通しを明らかにした。

H2 モビリティは、乗用車・小型商用車（700バール）と大型商用車（350バール）の両方が利用できる新しい水素ステーションの建設と並行して、既存の乗用車用水素ステーションを拡張し、大型商用車も利用できるようにする改築も進めている。

これまでに、H2 モビリティが運営する拠点のうち、32カ所をトラック・バス用に改築しており、2024年だけでもすでに、ハンブルク、ハイデルベルク・キルヒハイム、ドレスデンなどの18カ所のステーションで350バールでも水素を充填できるようになった。2024年末までに、350バールで水素を充填できるステーションは計53カ所に拡大する見通し。また、350バールと700バールで充填できる新型ステーションは、今後6カ月間で3カ所の開設が予定されている。

H2 モビリティは現在、ドイツで約80カ所（700バール）の公共水素ステーションを運営しており、350バールでも充填できるステーションは現在32カ所となっている。H2 モビリティは2028年までに供給する水素を全面的にグリーン水素に移行することを目標としている。

<AI22190>

ドイツ乗用車新車登録、8月は27.8%減少

ドイツ連邦陸運局(KBA)は4日、同国の2024年8月の乗用車新車登録が19万7,322台となり、前年同月に比べ27.8%減少したと発表した。新しい欧州連合(EU)型式認定規定が7月に施行され、6月に新規定に対応していないモデルの駆け込み需要があった影響で、7月から減少が続いている。また、電気自動車(BEV)については、2023年9月から社用車用のBEVが補助金の支給対象から除外されたため、同年8月に駆け込み需要があり、BEVの新車登録が急増した反動の影響がある。

1～8月の累計の新車登録は、前年同期比0.3%減の190万7,226台だった。これは、コロナ前の2019年同期の水準を約24%下回っている。

8月の顧客別の登録台数は、法人が前年同月比32.1%減の12万8,546台(市場シェア：65.1%)、個人は前年同月比18.1%減の6万8,590台(市場シェア：34.8%)だった。

ブランド別では、ドイツ勢はいずれも前年同月を下回った。なかでも、スマート(77.9%減)、MINI(44.6%減)、アウディ(36.6%減)は、減少率が30%を超えている。

国外ブランドでは、フィアット(52.3%減)、起亜(38.5%減)、ダチア(38.1%減)、現代自(31.5%減)の減少率が大きかった。これに対し、ボルボ(18.8%増)、プジョー(16.9%増)は2ケタの増加率だった。

日本勢は、レクサス(17.0%増)と三菱自(7.1%増)が前年同月を上回ったが、ホンダ(25.5%減)、マツダ(30.6%減)、日産(27.5%減)、スバル(33.0%減)、スズキ(18.4%減)、トヨタ(12.3%減)は2ケタの減少率だった。

■ BEVが急減、前年同月比68.8%減少

8月の燃料別の登録台数は、純粋な電気自動車(BEV)が前年同月比68.8%減の2万7,024台(市場シェア：13.7%)に急減した。

ハイブリッド車は、前年同月比1.5%減の6万9,344台(市場シェア：35.1%)と、小幅の減少幅にとどまっている。うち、プラグインハイブリッド車は、前年同月比6.8%減の1万3,565台(市場シェア：6.9%)だった。

ガソリン車は、前年同月比7.4%減の7万7台(市場シェア：35.5%)、ディーゼル車は、前年同月比24.4%減の2万9,974台(市場シェア：15.2%)だった。

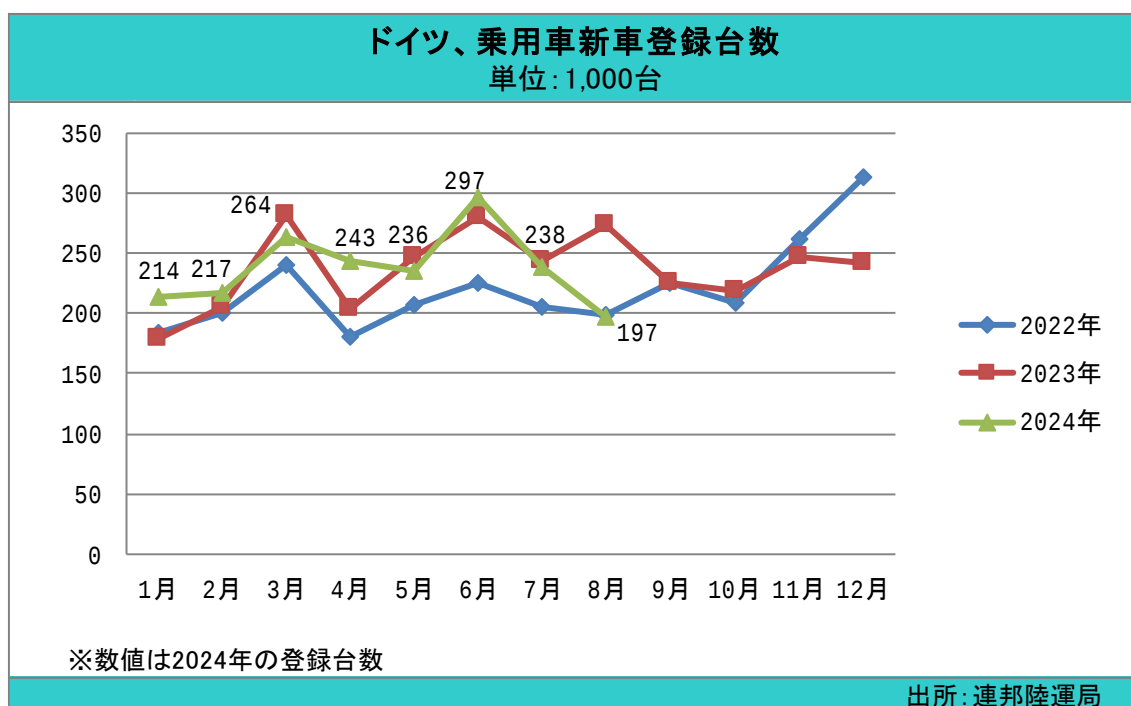
ドイツの乗用車新車登録統計 2024年：燃料別						
	8月	市場シェア	前年同月比 伸び率(%)	1～8月	市場シェア	前年同期比 伸び率(%)
ガソリン	70,007	35.5	-7.4	703,990	36.9	4.9
ディーゼル	29,974	15.2	-24.4	348,433	18.3	4.0
液化石油ガス(LPG)	953	0.5	3.6	9,848	0.5	7.5
天然ガス(CNG)	3	0.0	-97.7	136	0.0	-88.0
ハイブリッド	69,344	35.1	-1.5	602,729	31.6	11.4
うち、プラグインハイブリッド	13,565	6.9	-6.8	117,925	6.2	9.2
電気(BEV)	27,024	13.7	-68.8	241,911	12.7	-32.0
水素	-	-	-	-	-	-

出所：連邦陸運局

(次頁に続く)

ドイツ、新車登録：2024年				
	8月		1～8月	
	台数	前年同月比 伸び率(%)	台数	前年同期比 伸び率(%)
オートバイ	19,979	-5.9	170,710	-5.8
乗用車	197,322	-27.8	1,907,226	-0.3
バス	327	-42.5	3,924	8.5
トラック	19,850	-32.6	216,457	10.7
牽引車	5,029	-47.1	60,997	-9.6
その他	1,459	-14.4	14,145	-6.2
合計	243,966	-27.4	2,373,459	-0.1
被牽引車	20,445	-8.9	190,980	-3.1

出所：連邦陸運局



出所：連邦陸運局

ドイツの乗用車新車登録統計 2024年						
ブランド	8月			1～8月		
	登録台数	シェア(%)	前年同月比 伸び率(%)	登録台数	シェア(%)	前年同月比 伸び率(%)
愛他汽車 (Alfa Romeo)	-	-	-100.0	27	0.0	-41.3
アルファ・ロメオ	365	0.2	-24.7	4,526	0.2	7.6
アルピーノ	18	0.0	-14.3	341	0.0	20.1
アストンマーチン	12	0.0	-67.6	229	0.0	-32.4
アウディ	13,550	6.9	-36.6	137,150	7.2	-17.8
ベントレー	9	0.0	-82.7	515	0.0	-15.6
BMW	16,140	8.2	-23.0	152,009	8.0	0.3
BYD	218	0.1	-89.3	1,650	0.1	-38.1
キャデラック	6	0.0	-80.0	137	0.0	-42.9
シトロエン	2,981	1.5	-21.3	38,595	2.0	47.1
ダチア	4,502	2.3	-38.1	48,768	2.6	2.4
DAFTラック	-	-	-100.0	1	0.0	-
DS	192	0.1	-11.1	2,082	0.1	35.1
フェラーリ	140	0.1	4.5	1,460	0.1	13.2
フィアット	4,057	2.1	-52.3	45,163	2.4	-13.3
フィスカ	2	0.0	X	132	0.0	X
フォード	8,418	4.3	-28.0	68,548	3.6	-16.7
長城汽車 (GWM)	249	0.1	-88.7	1,894	0.1	-38.1
ホンダ	595	0.3	-25.5	4,920	0.3	20.5
現代自動車	7,954	4.0	-31.5	66,623	3.5	-8.0
イネオス	42	0.0	-60.4	369	0.0	-24.8
イベコ	71	0.0	22.4	771	0.0	26.0
ジャガー	99	0.1	-59.1	1,607	0.1	-25.2
ジープ	708	0.4	-66.2	7,898	0.4	-11.6
起亜	5,450	2.8	-38.5	47,815	2.5	-7.2
ラーダ	7	0.0	-46.2	32	0.0	-75.4
ランボルギーニ	86	0.0	1.2	906	0.0	27.6
ランチア	-	-	X	1	0.0	X
ランド・ローバー	771	0.4	-35.9	8,546	0.4	-9.8
レクサス	510	0.3	17.0	3,147	0.2	43.8
ロータス	37	0.0	37.0	231	0.0	11.1
ルシード	13	0.0	44.4	86	0.0	53.6
リンク・アンド・コー (Lynk & Co)	2	0.0	-98.9	48	0.0	-97.7
MAN	105	0.1	-7.1	1,004	0.1	-36.1
マセラティ	31	0.0	-50.0	378	0.0	-54.7
マクス (MAXUS)	3	0.0	-70.0	50	0.0	47.1
マツダ	2,684	1.4	-30.6	29,744	1.6	-0.6
メルセデス・ベンツ	19,437	9.9	-15.5	169,299	8.9	-10.8
MG Roewe	594	0.3	-75.8	16,027	0.8	13.7
MINI	2,619	1.3	-44.6	20,126	1.1	-34.9
三菱自動車	1,867	0.9	7.1	20,258	1.1	91.1
モーガン	12	0.0	140.0	51	0.0	24.4
蔚来汽車 (NIO)	35	0.0	-91.5	301	0.0	-62.6
日産	1,989	1.0	-27.5	20,674	1.1	-1.1
オペル	12,142	6.2	-17.1	101,758	5.3	8.1
プジョー	4,875	2.5	16.9	42,863	2.2	36.0
ポールスター	188	0.1	-75.1	2,195	0.1	-55.8
ボルシェ	1,895	1.0	-18.0	25,851	1.4	9.4
ルノー	3,672	1.9	-45.2	33,601	1.8	-23.0
ロールスロイス	17	0.0	-43.3	226	0.0	0.4
セアト	10,597	5.4	-26.3	106,500	5.6	20.9
シュコダ	14,451	7.3	0.0	137,597	7.2	23.2
スマート	650	0.3	-77.9	9,670	0.5	-23.3
双電自動車 (Seangyong)	74	0.0	-82.7	1,320	0.1	-19.5
スバル	364	0.2	-33.0	2,981	0.2	-2.0
スズキ	2,232	1.1	-18.4	16,919	0.9	2.8
テスラ	2,370	1.2	-65.7	26,089	1.4	-44.7
トヨタ	6,800	3.4	-12.3	60,058	3.1	13.7
ピンファスト	23	0.0	X	59	0.0	X
ボルボ	3,934	2.0	18.8	41,275	2.2	55.3
フォルクスワーゲン	35,359	17.9	-23.3	365,965	19.2	4.6
小鹏汽車 (XPENG)	33	0.0	X	80	0.0	X
その他	1,066	0.5	-33.3	8,080	0.4	-
合計	197,322	100.0	-27.8	1,907,226	100.0	-0.3
出所: 連邦陸運局						

<AI22191>

ドイツ国内生産、8月は24%増加

独自動車工業会（VDA）は4日、2024年8月の国内乗用車生産が31万3,700台となり、前年同月に比べ24%増加したと発表した。1～8月の累計は、前年同期比2%減の272万3,100台だった。これは、コロナ前の2019年同期の水準を依然として14%下回っている。

輸出は、8月が前年同月比36%増の24万1,200台、1～8月の累計は、前年同期比2%増の211万5,900台だった。これは、コロナ前の2019年同期の水準を約10%下回っている。

8月の国内受注は、前年同月に比べ4%減少している。国外受注も前年同月を3%下回った。総合すると8月の受注は、前年同月に比べ3%減少した。1～8月の国内・国外を合わせた累計受注は、前年同月を約2%上回っている。

ドイツ、生産・輸出台数：乗用車				
	2024年8月	前年同月比 伸び率(%)	2024年1～8月	前年同期比 伸び率(%)
生産台数	313,700	24	2,723,100	-2
輸出台数	241,200	36	2,115,900	2
出所：ドイツ自動車工業会（VDA）				

<AI22192>

ドイツ語での 情報収集・検索でお困りではありませんか？

FBCの「インフォメーション・ブローカーサービス」は、クライアントが必要とする情報迅速に探し出す情報検索サービスです。私たちは長年の調査業務ノウハウを活用して広範囲な情報検索を提供しています。



プレスリリース



情報検索



問合せや訪問予約の
アレンジメント

検索料金は**250**ユーロ+VATから

お問い合わせ: FBCカスタマーサポート +49-(0)69-5480950 info@fbc.de

企業情報

■自動車メーカー■■■■■■■■■

ボルボ・カーズ、30年までに完全EV化の目標撤回

スウェーデン乗用車大手のボルボ・カーズは4日、2030年までに同社の全ての新車を電気自動車とする目標を撤回すると発表した。補助金の撤廃や電気自動車の需要低迷など、市場環境や顧客需要の変化を受け、目標の見直しが必要と判断した。新車ラインアップの見直しに伴い、二酸化炭素（CO2）排出量の削減目標も修正した。なお、長期的な目標として新車を全面的に電気自動車とする方針は堅持する。また、2040年までに温室効果ガスの排出量で実質ゼロ（ネットゼロ）の達成も目指す。

新しい目標は、2030年までに世界市場での販売台数のうち電気自動車の割合を90～100%とする。電気自動車には、純電気自動車とプラグインハイブリッド車（ケーブルで充電するプラグイン車）が含まれる。残りの0～10%は、マイルドハイブリッド車とする。なお、2030年までに全ての新車に純電気自動車を用意し、市場環境が整えば、全面的な純電気自動車への転換が可能な体制とする。

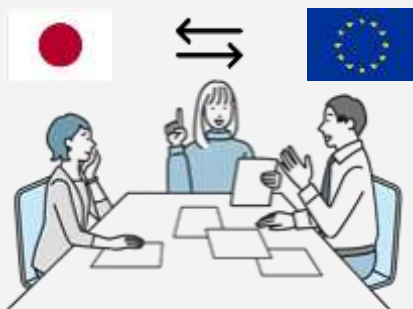
同社の2024年第2四半期の販売における純電気自動車の割合は26%だった。プラグインハイブリッド車も含めると全体に占める割合は48%となる。同社は2025年までにプラグイン車の割合が50～60%になると予想している。

■ CO2排出量の削減目標も修正

2030年までに純粋な電気自動車メーカーとなる目標の見直しに伴い、二酸化炭素（CO2）排出量の削減目標も修正した。

これまでは、2030年までにCO2排出量を2018年比で75%削減する目標を掲げていたが、これを65～75%削減に修正した。2025年は2018年比で30～35%の削減を目指す。これまでは40%削減を目標としていた。

<AI22193>



駐在員事務所代行サービス

欧州に事務所がなくても、
FBCが新規取引先の開拓や連絡、
貿易事務を代行します

BMW とトヨタ、燃料電池車の提携強化

BMW グループとトヨタ自動車は5日、水素分野における協力関係を強化する基本合意書を締結したと発表した。水素社会の実現に向け、燃料電池システムの開発やインフラ整備などで協力する。新世代（第3世代）の燃料電池システムを共同開発し、両社のモデルに搭載する計画で、BMW は2028年に同社初となる燃料電池車の量産モデルの生産を開始する計画。

BMW は電動化の取り組みにおいて、電気自動車に限定せず、幅広く技術を開発するテクノロジー・オープンのアプローチを取る。2028年に市場投入する計画の燃料電池車は、既存の駆動技術（純電気自動車：BEV、プラグインハイブリッド車：PHEV、内燃エンジン車：ICE）を補完する技術との位置付けで、既存のラインアップで選択可能な駆動技術の一つとして燃料電池車を販売する方針を示している。BMW の顧客にとっては、燃料電池車の発売により、走行時に二酸化炭素（CO₂）を排出しないゼロエミッション車の選択肢が増える。

BMW とトヨタは、協力関係の強化により、開発・調達の協力による相乗効果の創出、パワートレイン・ユニットの統合によるコスト削減、商用・乗用車の需要拡大にも取り組む。水素社会の実現に向け、インフラの整備や水素の安定供給、低コスト化にも取り組んでいく。

両社は2011年12月に環境技術における中長期的な協力関係の構築に合意し、燃料電池の開発などで10年以上に渡り協力関係を構築してきた。



出所：トヨタ自動車

<AI22194>

経済活動に大きく影響する
EUの政策動向をお伝えしています



欧州経済ウォッチャーを読んで
今のEUを知ろう

FBC

ステランティス、シトロエンにチャット GPT を標準装備

欧州自動車大手のステランティスは 8 月 29 日、傘下の仏シトロエンが車載インフォテインメントに対話型生成 AI「チャット GPT」の機能を導入すると発表した。ステランティスはすでにプジョーと DS オートモビルに同機能を採用している。

チャット GPT はシトロエンの音声認識システム「サウンドハウンド」と組み合わせることでインフォテインメントやナビゲーション、エアコンなどを音声操作するほか、複雑な質問に回答するなど、ドライバーとの直感的な対話ができるようになる。訪れた場所などでチャット GPT に質問することで、気になることや現地の観光情報などを得られる。

チャット GPT の導入対象は「C4」、「C4X」、「C5X」、「e ベルランゴ」、「e スペースツアラー」と、小型商用車（LCV）「ベルリンゴ・バン」、「ディスパッチ」の各モデル。サブスクリプション・サービスの「Connect PLUS パック」に含む形で提供する。料金は初年度は無料で、その後は英国の場合、月額 3.99 ポンドで利用できる。

<AI22195>

ポールスター新 CEO、元オペルのローシェラー氏が就任

スウェーデン乗用車大手ボルボ・カーの電動スポーツカーブランド、ポールスターは 8 月 28 日、新しい最高経営責任者（CEO）に元オペル CEO のミヒャエル・ローシェラー氏が就任すると発表した。現職のトーマス・インゲンラート氏は 10 月 1 日付で辞任する。退任の理由などは明らかにされていない。

ローシェラー氏は 2017 年から 21 年までオペルの CEO を務めた後、ベトナム自動車メーカーのビンファスト、米電動トラックメーカーのニコラの CEO をそれぞれ務めた。ポールスターの新 CEO としてまず、発売したばかりの高級 SUV「ポールスター 3」と SUV クーペ「ポールスター 4」の納車オペレーションに取り組む。その後は 25 年に 4 ドア GT「ポールスター 5」、26 年にロードスター「ポールスター 6」の市場投入を指揮する。

ポールスターの次期会長、ヴィンフリート・ヴァーランド氏は「ローシェラー氏はポールスターを次のステップに導く理想的なリーダーだ。業界知識の深さ、とりわけオペレーションの卓越性と一貫した商品戦略開発、グローバル市場でのプレゼンス強化はブランドの成長に大きく貢献するだろう」と述べた。

インゲンラート前 CEO は 17 年 6 月にボルボ・カーズの担当上級副社長に就任した。ヴァーランド氏は、ポールスターを「唯一無二のグローバルな高級電動車ブランド」に育て上げた同 CEO の功績に謝意を示した。

<AI22196>

— 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「**クリッピング**」し

日本語に抄訳してご提供します

料金は月々 1,000～3,000 ユーロから



ボルボの大型電気トラック「FH」、航続距離 600 キロの長距離モデルを投入

スウェーデン商用車大手のボルボグループは3日、大型電気トラック「FH」に最大航続距離 600 キロメートルの長距離モデルを追加すると発表した。運送会社は長距離ルートで途中充電なしに電気トラックを運用できるようになる。新モデルは 2025 年後半に発売の予定。

ボルボが開発した新しい電動車軸 (e アクスル) 技術によりスペースに余裕が生まれ、車載バッテリー容量を大幅に増やせるようになった。同時にバッテリー管理システムを改善し、パワートレインの効率も高めたことで航続距離の延長を実現した。

ボルボのトラック部門は中・大型電気トラックで 8 つのモデルをラインナップしている。これまでに世界 46 カ国で 3,800 台以上の電気トラックを納車してきた。40 年までにすべての製品を化石燃料フリーとする目標に向け、バッテリー電気自動車 (BEV)、燃料電池車 (FCV)、それに再生可能燃料で駆動するエンジン車の 3 本柱で製品を展開していく。

<AI22197>

英 JLR、ソリハル工場従業員に無料健康診断を実施

英高級車メーカーのジャガーランドローバー (JLR) は 8 月 30 日、バーミンガム近郊のソリハル工場の従業員 4,000 人に無料の健康診断を実施すると発表した。政府の試験事業の一環。1 日 75 人のライン作業従事者が 3 カ月に渡り循環器系の健診を受けられる。問題が見つかった従業員にはかかりつけ医、または JLR の健康保険サービスに紹介する。

同事業は地方当局が地元の雇用主と協力し、職場で健康診断を実施することで無料の健診を受けられる人を増やす英保健省の取り組みに沿ったもの。ソリハル工場での健診に対しては同市議会が資金を提供する。健診内容は国民医療制度 (NHS) が 40 歳以上の人を対象に行うものと同じで、身長・体重の測定、血圧とコレステロール、BMI の検査、生活習慣に関する調査などが含まれる。

JLR の最高医療責任者を務めるスティーブ・アイリー博士によると、同社は世界中で健康やウェルネスのプログラムに年 1,500 万ポンドを拠出している。

<AI22198>

ヨーロッパで

ビジネスパートナーを探したい…



>>> FBCにお任せください！

私たちはロングリスト・ショートリスト調査を通して
みなさまの欧州戦略を強力にサポートしています
欧州に攻め込むための最新の営業リストを作成します

■部品メーカー■

セルインパクト、第2四半期は38%増収

燃料電池や電解装置向けのフロープレートを製造するスウェーデンのセルインパクトは8月23日、同社の2024年第2四半期の純売上高が2,380万スウェーデンクローナ(SEK)となり、前年同期(1,720万 SEK)に比べ38%の増収となったと発表した。営業損益(EBIT)は、1,960万 SEKの赤字(前年同期: 2,720万 SEKの赤字)、税引き後損益は2,090万 SEKの赤字(前年同期: 2,850万 SEKの赤字)だった。

同社の事業の中核となるのは、同社が特許を取得済みの成形技術「Cell Impact Forming」と、フロープレートの開発、設計、製造に関する専門知識にある。顧客がフロープレートを購入するケースもあれば、顧客が同社をプロセスプロバイダーと見なす場合もある。

セルインパクトのダニエル・ヴァリン暫定最高経営責任者(CEO)は今後について、2025年にEBITDAで損益分岐点を達成できるとの見通しを示す。

また、同社は今後の目標として、◇2027年の純売上高で2億~2億5,000万 SEK◇2030年の純売上高で6億 SEK超◇EBITDAベースの利益率で中期的に15%超——を掲げている。

(1SEK = 14.23JPY)

<AI22199>

タタ製鉄の英スランウエルン工場、亜鉛メッキ鋼の生産記録を更新

インド鉄鋼大手のタタ製鉄は8月27日、英ウェールズのニューポートにあるスランウエルン製鉄所で、亜鉛メッキ鋼の生産記録を更新したと発表した。亜鉛メッキライン「ゾディアック」の自動化により生産効率が向上。1週間の生産量でこれまでの記録を242トン上回る1万4,077トンの記録を達成した。同社はこれにより、通年で60万トンの高品質亜鉛メッキ鋼板を生産する目標は十分達成できるとみている。

スランウエルン製鉄所はゾディアックに新たな技術システム「OSCAR」を導入し、生産シフトの交代時でも切れ目なく稼働する完全な自動化を実現した。クレイグ・フィリップス所長は、「生産記録の更新は厳しさを増す世界市場での競争に向けた製鉄所スタッフの懸命な努力の結晶だ」と述べた。

同製鉄所は英国内で唯一、自動車鋼材に特化して操業している。フィリップス所長は「新しいテクノロジーを活用し、ジャガー・ランドローバー(JLR)や日産などの顧客に引き続き高品質の製品を提供する」と述べている。

<AI22200>



HGHH / HH-WIN

ドイツのハンブルクで実施する水素プロジェクト。「ハンブルク・グリーン・ハイドロジェン・ハブ (HGHH)」では、100 メガワット (MW) の水電解装置を設置する。「ハンブルク・水素・産業ネットワーク (HH-WIN)」では、HGHH で生成したグリーン水素の輸送インフラを整備する。

ドイツ連邦経済・気候保護省のロベルト・ハーベック大臣は8月19日、ハンブルクを訪問し、当該プロジェクト2件に対する助成金の拠出を通知した。連邦政府とハンブルク州政府が共同で2億5,000万ユーロを支援する。

水電解装置は、ハンブルクのエネルギー供給事業者であるハンブルガー・エネルギーヴェルケが、プロジェクトパートナーであるハンブルクの独立系エネルギーインフラ資産運用会社 Luxcara と共同で設置する。水素輸送インフラは、天然ガス網を運営するガスネッツ・ハンブルクが整備する。

当該プロジェクトでは、旧モーアブルク石炭発電所を解体し、水素ハブを構築する計画。旧石炭発電所の解体作業は2023年10月から始まっており、水素電解装置の建設は2025年に開始する予定。生成したグリーン水素は、水素網とトラックにより輸送する。HGHH と HH-WIN の両プロジェクトで建設した装置・インフラは、2027年に操業を開始する予定。

FBCのロングリスト調査は



- ① 貴社の案件に合う対象企業をヨーロッパ全土から探します
- ② 全ての企業に貴社のプレゼン資料を送付
- ③ その後メール・電話で興味の有無を1件1件確認します

新たな**ビジネスパートナー**を探します

欧州自動車短信

■ 高性能でゼロエミッションの燃料電池製品を開発する米ヌベラ・フュエル・セルズ（以下、Nuvera）はこのほど、自動車、宇宙航空、海洋、分散型電源向けの水素パワートレインを開発する英ビリテック（Viritech）と戦略提携に向けた覚書（MoU）を締結したと発表した。両社は、Viritech のオンロード商用車向けパワートレイン「VPT60N」の販売、展開、サポートにおける協力の可能性を模索する。Nuvera は、Viritech のパワートレイン製品ラインとの統合テスト用に、Nuvera の燃料電池エンジン「E シリーズ」を提供し、統合および動作テストにおける技術サポートも提供する。Viritech は、Nuvera のスタック技術をベースにした統合型高出力密度の燃料電池システムの開発を検討している。この高出力密度システムは、航空宇宙、モータースポーツ、自動車などの高水準の用途の需要に対応することを目指している。

■ 英国のティーズサイド国際空港に設置する水素充填ステーションの建設計画書がこのほど、ダーリントン市議会に提出された。当該ステーションは、ティーズバレー水素輸送ハブの一環として建設を計画する 4 つの公共水素充填ステーションの 1 つで、水素燃料補給インフラの建設・運用を事業とする英 Element 2 がプロジェクトを主導している。この 4 つのステーションの建設は、英国政府が資金支援している。空港の車両や配送トラック、バンなどの水素燃料車両の利用を想定している。

<AI22201>

Information Broker Service

私たちは情報を迅速に探し出すスペシャリストです

FBCでは長年の調査業務ノウハウを活用して
広範囲な情報検索サービスを提供しています



プレスリリース

特定テーマに関する各界の評価
政府の統計データ・公式見解など



情報検索

官報・広報・特許・学術文献
調査レポート・書籍など



問合せや訪問予約の
アレンジメント

産業団体・関係当局・専門家
各所への問い合わせなど

検索料金は**250**ユーロ+VATから

お問い合わせはFBCカスタマーサポート +49-(0)69-5480950 info@fbc.de まで

一般・その他

EU 産ブランドがダンピング輸出、中国政府が暫定認定

中国商務省は8月29日、欧州連合（EU）産ブランドを対象に実施している反ダンピング（不当廉売）調査について、ダンピングを確認したという暫定調査結果を発表した。ただ、追加関税の適用は当面見送る。中国製の電気自動車（EV）に暫定的に最大36.3%の関税を上乗せする方針を打ち出したEUに新たに揺さぶりをかけた格好だ。

中国政府は1月、EUの欧州委員会が2023年10月に中国製EVに対する反補助金調査を開始したことへの対応措置として、EU産ブランドへの反ダンピング調査を開始。調査期限は25年1月5日だが、29日にダンピングと暫定認定した。

メーカー別のダンピング・マージン（適正価格とダンピング価格の差額）は、フランスのマテルが30.6%、ヘネシーが39%、レミー・マルタンが38.1%となっている。

商務省はブランドへの追加関税を即座に適用しない理由について説明していないが、中国製EVへの関税上乗せをEU加盟国が承認するまで発動することを控えたEUに歩調を合わせた形となる。双方とも一連の問題が大規模な通商紛争に発展するのは避けたいところで、交渉材料として手札だけ示して相手側の出方を待つ“にらみ合い状態”が続く。

今回の決定の事実上の標的はフランス。中国が23年に輸入したブランドの99%を同国産が占める。中国には政府、自動車業界とも中国製EVへの追加関税を強く支持しているフランスに圧力をかけ、EU加盟国が10月に実施する同措置発動の可否をめぐる採決で、多くの票を握る同国を方針転換させたいという思惑があるもようだ。

中国はEV追加関税問題への対抗措置として、ブランドのほかEU産の豚肉に対する反ダンピング調査、EU産乳製品への反補助金調査を開始している。

欧州委の報道官は同日、中国の決定について、「EU産ブランドは世界貿易機関（WTO）のルールを完全に順守して中国に輸出されている」としたうえで、EV追加関税問題に関するEUの決定に「何の影響もない」とコメントした。

<AI22202>

EUと中国、産業データ移転に関する協議開始

欧州委員会は8月27日、欧州連合（EU）・中国間で産業データを円滑に移転できるようにするための協議を中国政府と開始したと発表した。

インダストリアルデータと呼ばれる産業データは、製品の開発や生産、販売、設備稼働など産業分野の活動で生み出されるデータのこと。EUと中国は昨年、経済貿易ハイレベル対話などの場で、スムーズなデータ越境移転の実現を目指し、メカニズムを構築することで合意していた。これに基づく協議は初となる。

欧州委は初回の協議を終えた後に発表した声明で、「EU・中国間の外国直接投資（FDI）の重要な部分が、企業のデータ越境移転を管理する能力によって左右される。特に金融、保険、製薬、自動車、通信情報技術などの分野で重要だ」と述べ、円滑なデータ移転の重要性を強調した。

中国は反スパイ法に基づき、海外企業が中国から「重要な」産業データを移転することを厳しく制限している。しかし、「重要データ」の定義はなく、同国に進出しているEU企業は困惑している。EUはメカニズム構築によって、域内企業が中国の法令に沿いながらも円滑にデータを移転できる環境を整えたい考えだ。

<AI22203>

環境団体が EU を欧州裁に提訴、温効ガス排出規制強化求め

地球温暖化問題に取り組む国際的非営利組織（NGO）「気候行動ネットワーク（CAN）」の欧州支部と英国を本拠とする人権 NGO「グローバル・リーガル・アクション・ネットワーク（GLAN）」は 8 月 27 日、欧州連合（EU）の温室効果ガス排出削減に向けた取り組みが不十分として、関連政策を主導する欧州委員会を欧州司法裁判所の一般裁判所に提訴したと発表した。削減目標の引き上げを求めている。

EU は 2050 年の気候中立化に向け、30 年までに域内の温効ガス排出量を 1990 年比で 55%削減する目標を掲げている。

これについて 2 団体は、EU の温効ガス排出量の 57%を占める建設、農業、運輸などの分野に各加盟国が適用している削減規制が緩すぎ、気温上昇を産業革命前と比較して 1.5 度以内に抑えるというパリ協定の目標達成の障害になっていると批判。同規制の強化によって、30 年までに域内の温効ガス排出量を 55%削減するという目標を見直し、削減幅を 65%に引き上げることを求め、訴訟で争う。

同日には、これとは別件で、欧州の環境保護 5 団体が、EU の「タクソノミー」制度に問題があるとして、欧州委を一般裁判所に提訴した。

タクソノミーは環境問題の解決に貢献する持続可能な経済活動かどうかを仕分ける EU 独自の基準。対象リストに指定された業種は、投資家や金融機関から使途を環境改善事業に限定したグリーン融資を受けることができる。

5 団体は、燃料効率が高い航空機、船舶がリストに入っていることを問題視している。航空機は省エネではあるが依然として化石燃料を使っており、船舶でも燃料の主流となることが期待される天然ガスが化石燃料で、環境に配慮しているかのように装って投資家や消費者をミスリードする「グリーンウォッシング」に当たると指摘。リストから外すよう求め、提訴した。

欧州委の報道官は、今回の動きについて現時点でコメントを避けている。

<AI22204>

オランダ当局がウーバーに巨額制裁、EU のデータ保護規則違反で

オランダのデータ保護局（DPA）は 8 月 26 日、配車サービス大手の米ウーバー・テクノロジーズが欧州連合（EU）の一般データ保護規則（GDPR）に違反したとして、2 億 9,000 万ユーロ（約 470 億円）の制裁金支払いを命じたと発表した。

DPA によると、ウーバーは 2 年間にわたって、欧州で契約している運転手の銀行口座、免許証、位置情報、写真、身分証明書などの機密情報を米国本社に送り、十分なデータ保護措置を怠っていた。

同問題はフランスの 170 人を超える運転手が国内の人権保護団体に通報し、同団体が仏データ保護当局に苦情を申し立てたのをきっかけに発覚。仏当局はウーバーの欧州本社があるオランダの当局に対応を委ねていた。

EU が 2018 年 5 月に導入した GDPR は、域外に個人データを持ち出すことを原則として禁止しており、違反した場合は高額な制裁金を科される。

ウーバーはオランダ当局の制裁措置に対して「当社は GDPR の規則を順守している」と反論。「異常ともいえる巨額の制裁は完全に不当だ」として、オランダの裁判所に提訴する構えを示している。

<AI22205>



テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に
注目の技術情報を集めています。

英 HVS、中国 HYBOT と戦略提携

水素を燃料とするゼロエミッション商用車を開発する英新興企業ハイドロジェン・ビークル・システムズ (HVS) はこのほど、中国の水素燃料電池商用車メーカー、広州海珀特科技有限公司 (HYBOT) と戦略提携に関する覚書 (MoU) を締結したと発表した。

今回の提携では、英国および欧州連合 (EU) における燃料電池トラックの普及促進に向け、製品、技術、サービスの分野で協力する。

両社はそれぞれの強みを生かして車両開発で協力するほか、HYBOT は技術面を、HVS は販売、アフターサービスを担当する。また、HYBOT のサプライチェーンを基盤に、サプライチェーンシステムを共有・最適化し、コスト効率の向上と開発時間の短縮を目指す。

今回の合意には、HVS の製品を中国へ輸出する可能性や、その他の国際市場の開拓における協力の可能性も含まれている。

また、両社は今後さらに、合併事業、研究イニシアチブ、技術共有などに協力の範囲を拡大する可能性についても模索していく方針を示している。

<AI22206>

■企業名索引

今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

Index

企業名	掲載頁	
BMW	10	Stellantis／Citroen 11
Cell Impact.....	13	Tata Steel..... 13
Hydrogen Vehicle Systems (HVS)		Toyota..... 10
.....	18	Viritech..... 15
Jaguar Land Rover	12	Volvo Cars..... 9
Polestar	11	Volvo Group..... 12

目で見える欧州自動車産業ニュース

英国、自動車生産統計：2024年7月

英国、自動車生産：乗用車 2024年						
	7月			1～7月		
	2023年	2024年	変動率	2023年	2024年	変動率
合計	76,451	65,478	-14.4%	526,619	481,552	-8.6%
国内向け	13,187	12,515	-5.1%	103,415	118,672	14.8%
輸出	63,264	52,963	-16.3%	423,204	362,880	-14.3%
輸出比率	82.8%	80.9%		80.4%	75.4%	

出所：英自動車工業会（SMMT）

英国、自動車生産：商用車 2024年						
	7月			1～7月		
	2023年	2024年	変動率	2023年	2024年	変動率
合計	8,884	15,252	71.7%	67,790	72,761	7.3%
国内向け	3,492	5,718	63.7%	24,588	23,959	-2.6%
輸出	5,392	9,534	76.8%	43,202	48,802	13.0%
輸出比率	60.7%	62.5%		63.7%	67.1%	

出所：英自動車工業会（SMMT）



英乗用車生産、7月は14.4%減少

英自動車工業会（SMMT）は8月29日、2024年7月の乗用車生産が6万5,478台となり、前年同月に比べ14.4%減少したと発表した。減少の背景には、生産モデルの変更に伴う生産調整や、一時的なサプライチェーンの問題により生産が制限されたことがある。1～7月の累計は、前年同期比8.6%減の48万1,552台だった。

7月の生産台数は大幅に減少したものの、電動車（純電気自動車、プラグインハイブリッド車、ハイブリッド車）の生産が全体に占める割合は37.5%（前年同月：39.5%）と安定していた。

7月の輸出向けの生産は全体の80.9%を占めた。輸出先は、欧州連合（輸出全体の51.3%）が最も多く、米国（17.6%）、中国（8.6%）、トルコ（5.5%）、日本（3.1%）が続いている。

■ 商用車生産、7月は71.7%増加

SMMTによると、同国の7月の商用車生産は1万5,252台と、前年同月に比べ71.7%の大幅な増加となった。3月から4カ月連続で減少していたが、一時的なサプライチェーンの混乱の終息と堅調な輸出需要により、増加に転じた。

1～7月の累計生産は、前年同期比7.3%増の7万2,761台となった。これは、コロナ前の2019年同期の水準を81.31%上回っている。